

津名高校創立97周年記念式典 式辞

秋風がさわやかなこの佳き日、本校は創立97周年を迎えました。記念式典にあたり、ご多忙中にもかかわらず、原 哲明様をはじめ、たくさんのご来賓の方々のご臨席をいただき、厚く御礼申し上げます。

本校は大正9年1月に志筑町立志筑技芸女学校として創立され、昭和23年に県立津名高等学校に校名変更され、本年度をもって97周年で、卒業生総数19703名を誇る伝統校です。その間「自主」「誠実」「勤勉」の校訓のもと、優れた人材を輩出してまいりました。

平成7年の阪神淡路大震災という淡路市にとっても兵庫県にとっても大きな苦難を乗り越え、平成17年4月には同窓生及び地元関係各位の多大なご尽力があり、県全体の財政難という状況でありましたが、現在の番城ヶ丘に悲願の校舎移転が行われ、今年で12年経過します。

さらに、平成19年3月には同窓生の絶大なるご支援により、同窓会館である「エンジ会館」が完成し、新校舎とあいまって、県でも指折りの素晴らしい環境にある学校となりました。

津名高校は今から3年後のオリンピックのある2020年に創立100周年を迎えます。昨年度には本校16回生で、本校の校医である高島玲子先生が同窓会長に就任されました。また、高島会長を実行委員長とする100周年記念式典実行委員会が今年3月に結成され、同窓会、PTA、学校の三者が一体となり、100周年に向けた記念事業の策定が着々と進んでいます。

私たちとしても、津名高校100周年に向けた取り組みの中で、約二万人にも及ぶ同窓生の絆と、津名高校の新たな発展の礎が築かれるよう、真摯に取り組んでいく決意です。

現在、津名高生は学校の内外で活躍しています。部活動でも、県大会上位の成績をおさめ、近畿大会、全国大会に出場するクラブも多くあります。また、地域でもボランティア活動であるとか、半世紀以上の伝統をもつ「観藤会」「たそがれコンサート」などを実施するなど、地域に親しまれ愛される学校です。

津名高校は、生徒も素直で、礼儀正しく、教職員も互いに融和的であり、同窓生・保護者も大変協力的であり、生徒と教員、地域が一体となって目標に向かって邁進している学校です。

具体的には、学習面では、個々のニーズに合った組織的な学習指導と進路指導による「伸び率ナンバー1」を目指す取り組み、探求能力を伸ばすための「理数教育重点指定校」としての取り組み、また国際化に対応した「英語でのプレゼンテーション」の取り組みをしており、一人ひとりの個性を最大限伸ばす努力をしています。

今年から新たに始めた2年生の総合学習「Reborn Project」では、地域の課題を調査し、地域の発展のために新たな提案をしようという試みをしています。この取り組みには、地域からも多くの期待が寄せられています。これらの取り組みを通して、様々なことを学び、皆さんが将来、地域の推進力となって活躍することを期待してやみません。

「Think globally, act locally」という言葉があります。これは「全世界的な視野を持って、身近な地域から行動せよ」という意味です。皆さんには、高校生時代から、様々なことにチャレンジし、思考を深め、広い視野と行動力を持っていただければと思っています。そして、将来はリーダーとして地域の様々な課題を解決していったほしいと思っています。

皆さんには「Think globally, act locally」をキャッチフレーズに頑張ってもらいたいと思っています。

最後になりましたが、津名高校が、97周年の歴史と伝統の上に、さらに新たな風をおこし、地域とともに歩み、未来を築く学校として邁進していくことができるよう、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。式辞とします。

平成29年10月12日
兵庫県立津名高等学校長
中 村 勝 年